

真盛園運営方針

1. 人間平等の原則の上で立つての福祉の増進
2. 宗教的雰囲気の中で心の安らぎ
3. 恵まれた自然環境の下での健康維持



節分 豆まき

2月3日(金)、毎年恒例の節分豆まきが行われました。
この日の食事は恵方巻き、鯛が出され利用者さんへは美味しく食べておられました。
食事の後は豆まきの開始です。2匹の鬼に「鬼は外〜」と勢いよく園長が豆をまかれ、邪気を払い福を呼び込んでおられました。その光景を見ていた利用者からは笑顔がこぼれていました。施設を回ったあとは、地域交流センター「老いも若さも」訪問看護ステーション「和顔」、坂本支所にも訪問し、「豆まきをして1年の無病息災を願いました。」
皆さん今年も安心して1年をお過ごし下さい。



2月3日は日本では古来より節分会を一つの行事として神社仏閣問わず行っている鬼を払う、節分の豆まき行事です。「福は内、鬼は外」豆まきは節分の祈禱の呪文の一文です。
幸福をもたらす神は入って下さい。福をなす神は出て行ってくれと言って鬼を払い、今年1年真盛園の平安を祈りつつ、家・家族の安泰を祈願致しました。



地域交流センター「老いも若さも」



3月3日は「ひな祭り」の日。真盛園では節分が終わるとひな人形を出して皆さんが無病息災で過ごせるよう毎年飾っています。今では女の子の成長を祝う行事となっていますが、昔は老若男女関係なく季節の変わり目に健康を願う神事だったそうです。当日は利用者さんに「ちらし寿司、天ぷら、さくら蒸し、菜の花の辛子和え、お吸い物、果物」をお出しします。またホームページにも掲載しますのでご覧下さい。



ひな祭り

節分と鯛の頭

開鼻という名の悪鬼がいて、節分の夜に家々を廻って女や子供を奪いさつたという伝説から、この鬼が鯛の臭いがかぐことが嫌いであったことから門口に柵にさして開鼻を防ぐ風習から起ったものと言われています。



《平成28年度職員表彰者》

- 滋賀県社会福祉関係功労者知事表彰
特別養護老人ホーム 田中 淳史
- 滋賀県老人福祉施設協議会会長表彰
居宅介護支援事業所 西村祐三子
小規模多機能型居宅介護事業所 山本タカ子
養護老人ホーム 岡田 寛
- 一般財団法人滋賀県民間社会福祉事業職員共済会表彰
(勤続30年) 迫田かぐみ
小鐘 君栄
(勤続20年) 深尾エミ子
八木さおり
- 大津市社会福祉協議会社会福祉功労者表彰
特別養護老人ホーム 中川 杏子
養護老人ホーム 岡崎 幸子
- 大津市社会福祉協議会会長表彰
小規模多機能型居宅介護事業所 大芝三由紀
特別養護老人ホーム 田中ゆかり
特別養護老人ホーム 村林 尚子
特別養護老人ホーム 磯貝 要介

真盛園マニュアル本 (ハンドブック)を改訂

平成20年に真盛園介護援助技術マニュアルとして「いつもここから」という本を発行いたしました。が、今回職員の長年培ってきた現場での体験を通して介護援助技術や福祉の理念を振り返り、改訂版として出版に漕ぎ着けたものであります。

社会は時代と共に進歩と変化をしていきます。介護施設も同じです。その時代に遅れないよう、利用者一人ひとりの為に頑張っていくことが真盛園の掲げる「心のこもった安心感と真の安らぎを得る場所」それが真盛園であること誇りにしたいと思います。



利用当初、大勢の方の中では躊躇されていた方も、利用されているうちに皆さんの輪の中で一緒に楽しく過ごされている姿も目にします。一日の体験利用も実費617円(昼食代として)で行っていますので、雰囲気だけでもご覧になりたい方は、是非お気軽にご相談お待ちしております。

デイサービスセンターの紹介



いつもデイサービスセンター真盛園の運営にご協力賜り、ありがとうございます。
おかげさまで真盛園のデイサービスは平成4年3月に開所し、今年でちょうど25年を迎えようとしています。地域の皆様に支えられて、今まで継続させていただいています。と、この場をお借りして感謝、御礼申し上げます。



さて、真盛園のデイサービスは、1日25名の定員で、月曜日から土曜日まで開所させていただいています。正月休み(12/30~1/3)を除く、祝日も営業させていただいています。
介護保険を利用し、要支援1の方から要介護5までの方が利用くださっています。
午前中、利用者の方は思い思いに過ごしてください。新聞をゆっくり読まれる方もいれば、塗り絵をしたり、懐かしい歌謡曲を聴いてくださっている方もいます。入浴したい方は入浴も個別に対応させていただきます。午後からは、レクリエーションの時間を持ち、輪投げやボーリングといった少し身体を動かしていただけるようなゲームも行うています。

編・集・後・記

昨年9月24日、遷化されました特別養護老人ホーム初代園長(社会福祉法人真盛園第4代目) 八耳哲雄園長を偲んで特集記事として業績と御功績を賛えさせていただきますました。八耳師のあのバイタリティと先見の目は誰しも真似のできないものを持っておられました。一方僧侶として布教面では大布教師でした。宗門寺院を初め全宗派、各種団体等からお声がかかりユーモアを交えながら釈迦の教えを説き、特に天台真盛宗の宗祖真盛上人の「無欲清浄・専勤念仏」の法話は檀信徒への説得力は感動を受けるものでした。

平成29年4月1日から社会福祉法改正によって経営組織のガバナンス、役員、理事会・評議員会の権限・責任の規定。更に財務規律の強化、社会福祉法人の社会貢献等の改正がされます。真盛園も法人としての役割を果たしていくよう精進していきたいと思いつつ、新しい年を迎えました。

前版 良憲



感染予防対策

真盛園では毎年、サラヤ（医薬品業者）さんによる感染予防の研修を行っています。基本はやはり「手洗い」と「うがい」。



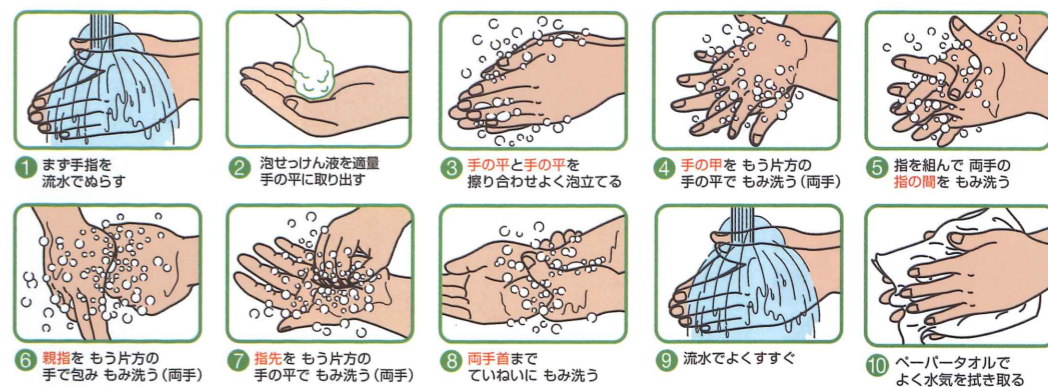
手洗いは手のひらで石鹸をよく泡立て、手のひらで手の甲を洗います。そして指を組んで両手の指の間を洗います。手首もしっかり洗って清潔なタオル等で拭き、乾燥させます。うがいは喉に付着したウイルスを体外に追い出すためだけでなく、喉を潤すことで湿度に弱いウイルスの運動機能を弱める効果があります。さらに、紅茶・緑茶・ウーロン茶に含まれるカテキンはインフルエンザウイルスに結合し、ウイルスの感染力をなくすといわれているので、お茶でうがいすることは、より一層の効果が期待できるそうです。

咳やくしゃみをする時は他の人から顔を寄せ、ティッシュなどで口と鼻を覆います。マスクを着用することも大事です。真盛園としての対策は、発熱症状のある職員については休暇をとってもらい、医療機関へ受診してもらっています。職員の家族が感染した場合でも休暇をとってもらいます。インフルエンザウイルス対策として利用者様（ご家族様の同意をえた上で）並びに職員の予防接種を行っています。

また、インフルエンザウイルスの園内感染拡大防止策として、玄関など人通りの多い所には空気清浄器&加湿器を置くようにし、施設内の衛生確保に努めています。

SARAYA

手洗い手順（泡石けん液）



四季折々の写真



施設の中に、たくさんの写真が飾られています。

これらの写真は、職員の福井氏が撮った写真で四季折々の風景や行事、人物等が撮られています。福井氏は、大津市展に入選、滋賀県展に特選されるなど様々な賞を受賞されており、カメラの腕はプロ級です。利用者さんや家族の方々、来園された方々も足を止め皆さんに「癒やし」を与えてくれます。一部の写真を紹介させて頂きます。近くにお越しの際は是非ご覧になって下さい。



真盛園後援会

真盛園の充実、更には利用者の方々の利便性を図る為にも後援会は欠かせないこととさせていただきます。高齢者福祉にご理解いただきご加入をお願い致します。

◇年会費

個人 1口 3,000円
法人 1口 5,000円

真盛園家族会

（真盛園）の入居者・利用者・家族と趣旨に賛同していただける方々

◇年会費 1,000円

家族会は、利用者ご家族の連携を深めるとともに、利用者の皆様の福祉向上にご支援をお願い致します。

天気の良い日は中庭でランチタイム

なかなか外出ができない為、天気の良い日は中庭でお昼ごはんを食べる事にしました。場所が変わるだけでも気分は最高！！みなさん、笑顔で食事をしておられます。



おいしかったよーまたたのむよ😊

おいすぎてアリちゃんも!!

きれいに撮れた?

ZZZZZ... 気持ちいいー

お寿司三昧




11月8日にぎり寿司の実演調理を行いました。ネタはまぐろ、鯛、サーモン、カンパチ、イクラ、ネギトロ、海老、穴子の7種類。会場へ利用者さんに集まっていたいただき、まぐろの解体を見てももらいます。職員が魚を捌く度に感嘆の声が上がります。大きなまぐろが徐々に解体されていくのを皆さん興味深く眺めておられました。そして切り身になったネタを順に握っていき、まるで寿司屋にでも来ているような臨場感を楽しんでいました。おかわりも次々に出回り好みのネタを選んでいただき、どの方も満足いくまで堪能してもらいました。こうして年に1度の寿司のイベントも大盛況のうちに終わりました。



健康に過ごすための食事

外部から侵入してきた細菌や異物に抵抗して体を守っているのが“免疫”です。病気にかりにくい体にするため、免疫力をアップさせましょう。

免疫力をアップさせる 食生活のポイント

- 1.1 日3食欠かさずに食べましょう。**
体のリズムをつくる朝食は特に重要です。
- 2. 良質なたんぱく質を摂取しましょう。**
免疫細胞の材料になるたんぱく質は、肉・魚・卵・乳製品・大豆製品を過不足なくとることが大切です。

- 3. 野菜や果物を食べて、ビタミンを補給しましょう。**
βカロテン、ビタミンC・Eには免疫力を高める力があります。

- 4. 整腸作用のある食品を欠かさず食べましょう。**
発酵食品（納豆・味噌・ヨーグルト・チーズなど）は腸内細菌を整える働きがあり、腸内をきれいにしておくことで免疫力を高めることができます。


ひとつの食品だけを食べても免疫力は高まりません。主食・主菜・副菜をそろえて食事全体のバランスをとることが大切です。また、楽しみながら食事をする、リラックス効果で免疫細胞が活性化します。おいしく食べて元気に過ごしましょう！

真盛園栄養士

園長 八耳哲雄師を偲ぶ



当法人の第4代常務理事兼園長をされていた八耳哲雄師が平成28年9月24日、亡くなられました。享年88歳でした。

八耳哲雄師は昭和50年9月15日より平成2年7月4日まで常務理事兼園長を務められ、その間昭和54年に特別養護老人ホームを県下で2番目に開設。初代特別養護老人ホーム園長に就任されました。従来の養護老人ホームと特別養護老人ホーム2施設併設のホームが設置されたのです。

八耳哲雄師の密葬が、去る9月27日自坊である福井県越前市別格本山引接寺で行われました。本葬儀は10月22日(土) 14時より行われ本堂には宗門を初め内外諸団体が御参拝、お別れを告げられました。私が本葬で述べた弔辞を掲載して八耳師の功績を賛えたいと思います。



石碑の文字は八耳園長筆

弔 辞

うらかな秋晴れが続いて、夜長の季節となりました。本日、別格本山第44世引接寺御山主殿、八耳哲雄大和尚の本葬儀に当り、不肖、私が弔辞を述べますことは、青天の霹靂と申しますか、悲しみに耐えられません。本山、宗門、教育、福祉、政治、社会面と多方面に渡って80有余年御活躍されてこられました八耳哲雄御山主殿には、私のような浅学非才の者が弔辞を述べさせて頂くことは大変恐縮ではありますが、おゆるしを頂いて、山主殿が、滋賀県、大津市、そして本山での御功績の一端を申し上げさせて頂き、感謝のお礼と致したいと存じます。

八耳御山主殿

八耳山主の著書「因縁より生ず」112ページに次のようなことが書かれています。

昭和の初め、父哲道が西教寺の執事長を勤めていた頃、京阪電車を延伸する話が持ち上がりました。「西教寺に2万円程のお金を協賛してくれたら、松の馬場から西教寺の門前近くまで電車を延ばしましょう」という話があったそうです。ところが西教寺にはそのような大金がなく、色よい返事ができず、結局、京阪電車は現在の坂本駅までしか延びませんでした。と書かれています。その話をよく言われておられました。京阪電車が西教寺門前まで開通していたら…もつと西教寺は発展していただろうなあ…と坂本の町から狭い坂道、そして、砂利道を歩いて、全国からの檀信徒参拝の不便さ、そして毎日の生活の不便さ、本山だけが遅れをとっては大変、真すぐで広い道を付けたい、よし、大津市議会議員に出て、道路を付けて便利にするんだと一大決意をして市議会議員に立候補されたようです。昭和34年、若干31歳でありました。爾来4期16年間、宗務と議員として活躍されました。年数はかかりましたが、昭和58年4月1日、西教寺門前まで道路が完成、定期バスが開通致しました。今日、大型観光バス、車の社会の時代にふさわしい、交通の便が良くなり、桜、紅葉シーズンには多くの観光、参拝客が本山へ訪れています。その後、国道161号線の延伸、湖西道路バイパス、坂本北インターが完成、北陸方面、高島方面の方には大変便利よく、時間も短縮となりました。しかし道路が完成するまで、そう簡単な話ではなく、滋賀県道路計画の事業化、地権者の土地買取問題等、その中で私によく言われておりましたのは、滋賀里の入口の方々の中で、いち早く立ち除き賛同していただいた滋賀里郵便局長、土地の所有者、でも一番難解やったのが地元坂本であった。本山まで来る前には日吉大社境内の宵宮場を通らなければならない。日吉大社境内は、国

の史蹟指定になつていたので、これをどのように解決するか、大きな課題でもあった、国、県、市を通じて、国に働きかけ、文部省の許可をようやく得たことをよく私に話されていました。一方、昭和40年頃の、西教寺は上水道ではなく、比叡山の横川の上流から流れてくる足洗川の水が飲み水でありました。取水口は、西教寺境内から約200m奥にあり、梅雨時期や大雨が降ると、その取水口が、泥や砂で、埋まり、夏は夏で水が枯れ、秋は秋で木の葉で取水口が埋まり、その度に水の取水口の掃除に行くのが若い寺務職員の仕事でもありました。その当時、台所で働いておりました、おとみさん、おしまさんという二人のおばさんが、また水が止まったと言ってくるといち早く行かねばなりません。今日は何々県何々寺団参等。また今日は会議と本山の行事があるなどと、水を止めるわけにはいかなかったのであります。市議会議員として、どうしても西教寺へ上水道を敷く為に、内局会、山内会議で、議論炸裂の中、水道が敷かれました。その時代は、すでに坂本の町は水道が敷かれておりましたが、西教寺の標高はそれよりも高い為、大津市条例を変更して上水道が敷かれたのであります。お蔭で今は、下水道、都市ガスまで敷かれて文化的な生活が出来ております。

また、本山の中で一番危険な場所は管長さんのお住まいの内司課であります。台風、大雨、土砂災害が来たら、内司課、蔵、灌頂蔵の建物が一瞬のうちに土砂で埋まってしまいます。それは内司課の北側に比叡山横川の上流から流れてくる、あばれ川の足洗川。これを何とかせねばと、大津土木と掛け合い、昭和45年頃でしたか、内司課の奥に高さ約30mの堰堤が出来ました。そして次々と本山境内との、河川敷きに5本の堰堤が完工、それによって災害を防ぎ、安全な本山となりました。

市議会議員時代の業績は、本山だけでも数えきれないほどあります。また、4期16年議員の間に昭和44年第34代市議会議長に就任、若冠44歳でありました。大津市制71周年記念日に合わせた昭和44年アメリカミシガン州ランシング市姉妹都市を結び、時の西田善一市長と共に渡米。市民にとっても新しいニュースでありました。こうして大津市、地元坂本、そして本山に数多く業績を残されました。議員引退後は、滋賀県教育委員として4期、15年、そして教育委員長を6期おつとめになりました。その間、子ども達の教育の向上は勿論、家庭、学校、地域が一体となって教育の向上、「ひびきあい活動」企業内家庭教育事業を推進されたと伺っています。また、本山に於いては、本堂の屋根大修理が完成すると同時に、国重要文化財の指定にも尽力されました。

社会福祉法人真盛園の常務理事、園長に昭和50年4月に就任されました、真盛養老院から養護老人ホーム、更には昭和54年に滋賀県下2番目に特別養護老人ホームの開設に尽力、それが現在の真盛園施設であります。定員50人から80人に増設。古い西教寺専門学寮の園舎を建て替えて頂き県下でも近代的施設として現在にいたっております。今では特別養護老人ホーム115名、養護老人ホーム60名、そしてショートステイやデイサービス等11の事業を展開、約200人の高齢者を御預かり、職員が約165名、日夜働いております。県下でも初めて、特養と養護併設施設を開設していただきました。また、滋賀県老人福祉施設協議会会長を歴任、滋賀の高齢者福祉の充実発展に寄与されました。数々の想い出は、つきませんが、山主さまが平成12年春の叙勲に「勲五等雙光旭日章」を受章されました。7月に武生パレスホテルで盛大に祝賀パーティが開催されました。私も総本山塔頭禅智坊檀信徒総代と共に出席致しました。その折、私に、「なあ、この章は、私は滋賀県、大津市での行跡で勲章をいただいたものと思っている、一つ、悪いけど大津市で何らかの方法で、お礼を言う場を作って欲しい」と申されました。私は即座にわかりました。そして時の大津市長の山田豊三郎さん、県教育長の吉川勉さんに相談、禅智坊檀信徒、石川重美さん、善通寺住職西

村岡紹さん数人に発起人となって頂き、平成12年8月19日に大津市琵琶湖ホテル、瑠璃の間で約250人の方々が、出席受賞祝賀会を開催できました。奥さまの幸子様と壇上での喜びの笑みが忘れません。当時発起人になって頂きました山田大津市長、吉川勉県教育長、相井義男県会議長、別所法山天台真盛宗務総長、禅智坊檀信徒総代石川重美さん、もうこの世を去り、そして八耳山主までと思うと、寂しさがひしひしと押し寄せて参ります。本日御導師していただいております、西村岡紹管長げいか下、そして私の2人だけとなりました。諸行無常でありますね。また、その他、大津市政功労賞、文部大臣表彰と数々の賞もお受けになられました。ご山主殿の本山時代の想い出として有名な話があります。あの大本坊を建て替えるの一大事業の事務を武田圓信宗務総長から指名を受け、川端三左エ門棟染との苦労話や、昭和30年10月18日上棟式、工事が順調に進んだものの、ところが21日上陸した台風13号によって節なしの総ヒノキ作りの大本坊が一瞬にして倒壊。その後の再建された時の苦労話をされておられました。西教寺内司課の裏山に大きな檜がありその木が、わしを使ってくれと言っている。と夢のお告げがあり、その木が今の台所の前の大黒さんをまつている大黒柱だ、この木によって本坊が再建、支えられていることをよく参詣者の方々に話をされてきました。今ではその話が歴史の1ページともなっています。山主殿の本山の宗務の厳しさ、そして伝統法要を守り、戦後の本山は、御山主のお力添えなかつたならば、今日の本山の隆盛と形態はありません。市議会時代の親しかった正田龍男議会事務局長、そして松井佐彦元市議会議員等連絡しましたら非常に悲しんでおられました。毎年2月には大津の琵琶湖ホテルで大津市議長会OB会が開かれた際、毎年出席をされておられました。もう議長会OB会では最長老でありましたので、1年に1回この会に出られるのが楽しみだと挨拶をされておられました。ここ2、3年体調の加減で欠席をされておられました。私に何人かの方々が八耳先生はどうしたんだろうと心配されておられました。まだまだ

話はつきませんが、御山主の法華經の曲打ちの木魚は誰しもまねすることができないほど素晴らしかったです。やわらかくてリズムカルな曲打ちの音。お經の読めない私でも誦誦することができました。あの素晴らしい木魚の音でもう一度総本山西教寺の本堂で朝の勤行をとめたい。もう聞けないかと思うと一抹寂しさです。先日、書棚を整理していましたら、御山主から頂いた手紙が出てまいりました。平成20年7月3日付の手紙です。

本日三日付の中外日報にて、定年制施行後の初の適用としての記事を拝見しました。永年の本山勤務は百課に亘って熟慮され、宗門、寺門共に隆盛の源として御苦勞頂いた御功績に対し深甚の感謝と敬意を捧げるものです。何分、複雑多岐の事務所です。貴殿こそ若者達に充分なる、伝統的必要課題を継承、御指導頂きますよう念ずるものであります。尚、今後共、老人ホーム其他福祉面での更なる御精進を御期待申し上げます。永年の御苦勞に對して感謝の御挨拶と致します。

七月三日

八耳哲雄

前阪良憲様

御山主から頂いた一通の手紙であります。私の宝として大事に保存しておきます。御山主殿ありがとうございました。今後共宗門、寺門発展の為に御浄土からお守り下さることお願いし弔辞と致します。

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏
平成28年10月22日



社会福祉法人真盛園
常務理事
(総合園長) 前阪 良憲